



中野太鼓連



久保祭保存会



貞元金神地区



郡祭囃子保存会

スタッフの感想
文化祭の様子は
こちら↓

福原一花さん
(高校生)

ゲームの後、笑顔で帰る姿を見てとてもやりがいを感じました。こういう機会は、学校ではなかったたので、自分にとって貴重な経験になりました。

菊地あられさん
(高校生)

写真 左

私が担当した「ぼっち展」会場は「ぼっちの世界」が共存芸術的で素敵な空間でした。そして、そんな素敵な空間を創り上げることができてよかったと感じています。

川口心結さん
岡田実結さん
吉原瑞蘭さん
(中学生)

ゲームが終わったあと、笑顔で帰ってくる子どももいてとても嬉しかったです。ボランティアとして地域の人と関わることができ、忘れられない思い出ができました。

田畑信二さん
(高校生)

初めてのボランティア活動で戸惑うこともありましたが、同じ企画のメンバーで協力をし、大人の方々にアドバイスをいただき本番は最高のストラックアウトができました。

「未来ある子ども達のためにこれから平和で幸せな君津をつなげたい。」来年戦後80年はその節目になるのではと数名の市民と文化祭への参加を決意。この君津にも戦争があったというタイトルで足元の戦争に向き合い、過去を知るところから始めました。悲惨な戦争は二度と繰り返したくありません。平和

平和へ三未来へピースフォーエバーの取組み



写真右 高橋さん

2年間にわたるこの近助縁日は、人と人、人と地域をつなぎ直し、今を生きる様々な世代の人が集まり、同じ時間を共有する夢を実現する企画でした。これから若津中央公民館と近助つぎあいをよりよくお願いいたします。

◆郡春日神社祭囃子保存会の始まりは、昭和52年、有町会(青年団)を結成した人達を中心に、郡・杉谷・新御堂の子ども達に太鼓を教えたことです。会はその年に徐々に人が減少し解散。平成28年、神社役員から「お祭りを賑やかして欲しい」と要望があり、太鼓指導者(経験者)が子ども達に太鼓を再び教える様に現在に至っています。毎年お囃子を見た子ども達が新しく加入しており、会員数は30名を超えています。

豆絞りを巻いて勢ぞろい!
近助縁日ボランティアスタッフ

60祭はみんなの合流点

ともに楽しむ
ともに楽しむ
ともに楽しむ

第60回君津中央公民館文化祭は、開館60周年事業の一環として、11月2日から4日まで開催。みんなが暮らしやすく、楽しい地域になることを願い、一人ひとりの「知恵・力・技」でつくりあげた文化祭となりました。



写真右 高橋さん

このまちで暮らす私たちの人生が、さまざまな物語があります。君津中央公民館が60周年を迎えられたのはこのまちに暮らすみなさんのおかげ。そこで今年の特集は、このまちの60年目の物語や「60年以上にわたる物語」、そして今年始まった新たな物語から、このまちの時の流れを見つめます。

◆御霊神社中野太鼓連は、戦前、神社の「馬出し祭り」で太鼓を叩いていたことに始まります。戦後は馬出しやお囃子が一旦途切れてしまいましたが、昭和50年頃、子どもの頃に太鼓を習ったという青年達が集まって、試行錯誤しながらお囃子を復活させ、神社役員と一緒に梅神輿を作り、現在のようなお囃子やお祭りへと整えてきました。



下湯江(写真中央 鈴木さん)

◆2代目 菊澤和子さん
昭和23年に創業(創業から76年)。今も昔も小中学校や高校の制服・体操服ほか衣料品を扱っています。戦後は各家庭を回って採寸し販売していました。嫁に



貞元河岸吹(かしぶき)地区

子ども達が生き生きとみこしを担ぐ姿を、皆様が見て出て眺める様子を見て「子ども達が町内の和に貢献してくれて」と感謝の気持ちでいっぱいです。来年も「子どもみこし」を町内の皆様と相談しながら盛り上げたいと思います。

60周年の今、改めて考える このまちと私の60年 & 新たなスタート

◆三共合資会社 昭和10年創業89年 坂本禮子
昭和39年に嫁いできて今年で60年。当時は人の顔を覚え、時間とお金を守り、信頼を得ることが商売の鉄則。家族とともに朝から晩まで夢中で働きました。

八幡製鐵(昭和40年君津製鉄所発足。現 東日本製鉄所君津地区)の進出が大きな転機でした。個人経営の店から君津ストアや君津ショッピングセンターなど大型店になり、地域が大きな様変わり。苦勞も多かったですが、昔も今も対人の商売。そこには情があり言葉をお交すことで気持ちも晴れやかになります。

◆民栄社商會
4代目 島田安雄さん
周西駅ができた翌年、大正5年に創業。創業から10年。先代・先々代ともに住み良いまちづくり、水道道路 区画整理等まわりの発展に尽力してきました。商売では農業機械の販売に革新。新しい機械の導入を新しい合せて機械の補修のほか常にお客様ニーズを捉え、メンテナンスなどのケアを大切にしています。

◆佐久間建築材店
昭和32年今の公民館の辺りに創業(創業から67年)。区画整理後に現在の場所に移転。昭和と平成のパパル景気とその終焉を経験し、様々な波を乗り越え、今も建築事業等を続けています。台風災害後は復旧各種申請手続き等、お客様のサポートを大切にしています。

◆吉田海苔 吉田海苔さん
昭和25年創業。創業から74年。区画整理で公民館との間の道路が拡張され一気交通量が増加、毎日事故が起きていました。車が店の前の電柱に激突して止まり、車を逃れたこと。今は信号ができて事故が激減しました。その時は信号設置の重要性を実感しました。

◆初めの祭
子どもみこし
貞元河岸吹地区 南 秀明
令和元年、町内に家が23棟新築された以来の倍以上の世帯となりました。町内清掃の時、大人に連れられた子ども達の多さに驚き、何か楽しいことが出来ないかと思いついた。「子どもみこし」を造った。との妙案があり、打合せやみこしの見学等を重ねました。氏方の有志と、若いお母さん方の協力で立派な「子どもみこし」が出来ました。

◆新たな物語
これまでこのまちの60年を見てきました。続いて、今年はいよいよスタートした物語を見てみましょう。